

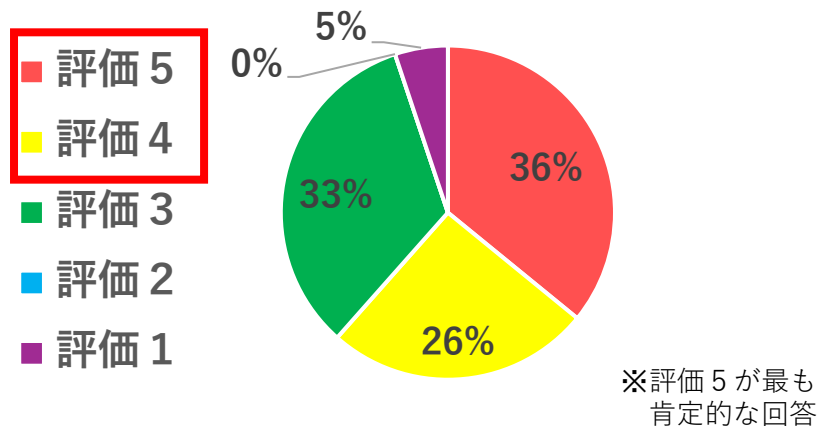
リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立木崎中学校【指定校】

【取組内容】 GIGAスクール構想に係る職員の組織編制の工夫

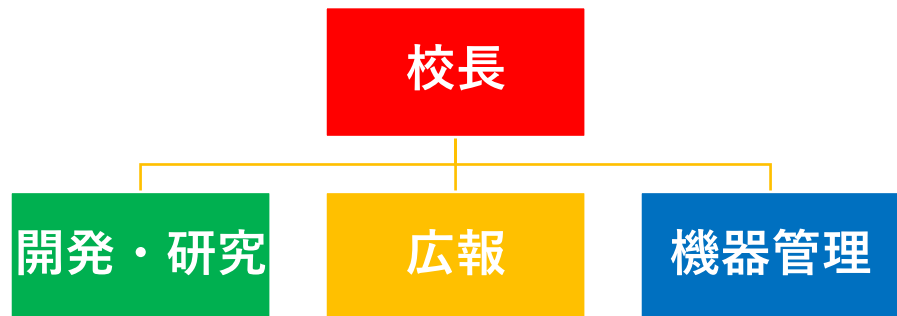
令和5年度まで、ICT教育推進担当が、端末の管理や1人1台端末を活用した研修会の開催等、GIGAスクール構想に関わる業務をすべて行っていた。その結果、担当者への負担が過重となり、本来の業務に十分な時間を割けなかったため、令和6年度から、校内のICT教育推進に係る組織再編を行い、業務分担の平準化を図った。

下のグラフはGIGAの組織編成に関する本校職員に向けてアンケートを行った結果である。62%の職員から肯定的な回答が得られた。



肯定的な回答の理由

- 積極的にICTを使うことがない教員も、組織再編することでICTに関わる機会ができ、それが授業などでICTを活用するハードルを下げたように感じたから。
- 全教職員が関わる体制になり、学校全体で取り組む機運が高まったため。



開発・研究担当

ICTに関わる校内研修の計画や実施、校外の研修に参加。

◎研究推進主任がマネジメントを行う。

★各学年2～3名

広報担当

○学校ホームページのブログの更新（1週間に最低1回、各学年ローテーション）

○アプリでお便りを配信（学校だより、学年だより、給食だより、学校図書館だより、保健だより等）

◎教頭がマネジメントを行う。

★上記の担当以外の学年職員（特別支援学級も含む）＋教務主任＋栄養教諭＋司書教諭＋養護教諭

機器管理担当

生徒・職員の端末の管理、修繕依頼。

◎本校は技術科の教員がマネジメントを行う。

★各学年2名